

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
数 学	数 学 C	4	3	文NP	6

教科書	数学C（数研出版）	副教材	クリアー数学C（数研出版）
			NEW GLOBAL MARCH数学 I + A + II + B + C（東京書籍）

科目の目標	<p>2次曲線および媒介変数表示と極座標について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>共通テストや大学入試に対応する基礎学力の養成と進学後の学問研究のための数学的な資質の育成。</p>
-------	---

科目の概要	<p>授業では、数学C「第4章 式と曲線」を扱う。履修後、NEW GLOBAL MARCH数学 I + A + II + B + Cを用い、数学全般の演習を行う。</p>
-------	---

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①知力・学力 ②課題対応力	③論理的思考力 ④原因分析力 ⑥受信・発信力	②課題対応力 ⑧行動力 ⑨自己管理能力
観 点 の 評 価	2次曲線の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評 価 の 方 法	定期試験の設問で評価することを基本とし、状況に応じて小テスト等でも評価する。	定期試験の設問で評価することを基本とし、状況に応じて小テスト等でも評価する。	提出物（課題）や授業態度等で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線, 2. 楕円, 3. 双曲線, 4. 2次曲線の平行移動, 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示, 8. 極座標と極方程式, 9. コンピューターといろいろな曲線 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	・幾何学的な定義に基づいて導き出された2次曲線の方程式とその概形について考察し, 2次曲線の基本的な性質を理解できるようにするとともに, 解析幾何学的方法についての理解を深める。 ・曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解できるようにし, それらを具体的な事象の考察に活用する力を養う。
	NEW GLOBAL MARCH数学 I + A + II + B + C 4単位を2単位ずつ数学 I 1. 多項式, 因数分解, 実数からと数学 II 2 8. 三角関数と加法定理からを並行して進めていく。 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	・入試問題に直結する問題パターン, 出題傾向を理解する。 ・自ら考える力を身につけ, 解答を確実に記述する力を身につける。 ・共通テストおよび大学入試問題に対応できる力を身につける。
2 学 期	NEW GLOBAL MARCH数学 I + A + II + B + C 4単位を2単位ずつ数学 I 1. 多項式, 因数分解, 実数からと数学 II 2 8. 三角関数と加法定理からを並行して進めていく。 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	・入試問題に直結する問題パターン, 出題傾向を理解する。 ・自ら考える力を身につけ, 解答を確実に記述する力を身につける。 ・共通テストおよび大学入試問題に対応できる力を身につける。
	NEW GLOBAL MARCH数学 I + A + II + B + C 4単位を2単位ずつ数学 I 1. 多項式, 因数分解, 実数からと数学 II 2 8. 三角関数と加法定理からを並行して進めていく。 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	・入試問題に直結する問題パターン, 出題傾向を理解する。 ・自ら考える力を身につけ, 解答を確実に記述する力を身につける。 ・共通テストおよび大学入試問題に対応できる力を身につける。
3 学 期	特別編成授業 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	・国公立個別試験に対応できる力を身につける。